

第1回 地域連携推進会議 報告 報告貴嶋

日時：2026年3月14日（土） 13:00～14:00

場所：グループホームやえざくら男性棟リビングにて

出席者：・Kさん（小平市障害者職業訓練能力開発校 生活相談員）

・Tさん（地域コミュニケーション推進委員 ※12小学校）

・Iさん（やえざくら入居者の保護者）

・Aさん（やえざくら入居者代表）

・有澤（鹿島開発福祉部部長）

・貴嶋（やえざくら管理者兼サービス管理責任者）

（・Hさん（東大和市障害者グループ保護者）・・・別日の参加予定）

※今回、地域連携会議を開催する前に、「やえざくら」としてはじめて地域交流会的な催しを午前中（10:00～11:30）に開催しました。「やえざくら」を知らない地域の方に知ってもらうため、陶芸の作品やお花やクッキーの販売又、ミニボッチャの体験会を計画し、周辺に100枚のチラシを配布して当日20名弱の方に来ていただきました。

②午後からは、地域連携推進会議を行いました

内容・意見：初めにこの会議を開催する意義を有澤からお話させていただき、自

已紹介そしてそれぞれのお立場で課題となっている事柄をお話頂きました。

地域との連携といってもまずは知ってもらうことからでしかない事、連携する意味として災害時の協力体制、例えば地域に住まわれている方の中には高齢者や障がいがある方について災害拠点である12小学校でも、その様な方をどう把握するかが課題となっているとの事でした。「やえざくら」の建物は平屋でありバリアフリー仕様でもあるので、地域の方のお役に立てる場合もある事をお話しました。今後は防災訓練時など地域の方にもご参加いただけるような可能性を検討出来るのでは。との意見が上がりました。

また、「やえざくら」では最近、子供のいたずらによる窓ガラス破損事件があり、理由の中に「障がい者が暮らしている家だから」という事がありました。差別的な感性はなかなか払拭できません。障がいある方が普通に地域のアパート暮らしが出来るような居住支援法人を「鹿島開発」では進めていきたい意向をお伝えしました。

利用者や保護者の方からはグループホームに入居して安心して暮らせているとのお言葉をいただき終了いたしました。

以上

地域連携推進会議

記録者 貴嶋

日時：2026年4月6日（月） 11：00～12：30

場所：グループホームやえざくら SS 室にて

第1回目の地域連携推進会議に未参加だった方の来訪を依頼し、ご意見を聞く場としてお越しいただきました。

- ・H さん（東大和市障がい者グループ代表）
- ・他、2名グループメンバーの方にもご参加いただきました。

①地域連携会議を開催することの意味をご説明。

②1回目の会議の内容説明。

③知的障がいを持つ、親御さんの状況から、障がい者グループホームに対する要望を伺いました。

・現在は子供の年齢は（18歳、19歳、20歳）若く、支援学校を卒業し実家から通所先に通っている。がいずれ、子供の住まいを考えなければならない。施設も含め、グループホームを検討したいが、重度の知的が入れるグループホームが少ない。元々知的の方の住まいとしてのグループホームが増えていかないと困ってしまう。

・グループホームに限らず、障がいの特性や人権についての考えを持ってほしい。

以上